

【地元論】（山形発・地元ナース養成プログラムの基礎編）

担当： 後藤 順子

授業概要：“地元”の概要を理解し、学生個々人の“地元”に対する理解と愛着を深める。

* “地元”で働くこと「だから私は“地元”で働く」

～外部講師により、“地元”の理解をさらに深めるために、ご講義いただきました～

<1回目> 平成27年12月10日

順仁会遊佐病院 看護師 梶原 晶（かじわら あき）氏



<学生の学び>

○結婚したら看護師は辞めようと思っていたけど、自分の生活スタイルに合った病院で働くことも出来そうだな、と思いました。

○ワークライフバランスがとれること、子育てがしやすいことは、地元の強みだと思った。

○将来の育児ことや、自分の両親のことも考慮すべきだなと考えた。

<2回目> 平成27年12月17日

大蔵村役場健康福祉課 保健師 池田 和生（いけだ かずい）氏



<学生の学び>

○自分の地域の強み・良さや弱みについて、改めてじっくり考えることが出来た。

○地元就職するメリット・デメリットは何か？について考えることが出来た。

○看護師になってどうなりたいか、どう働きたいか、どこで働きたいかなど、将来のことについて、いろいろ考えた。

○自分が地元のために何が出来るかなと、考えるようになった。

○都会の大きな病院で働くことだけが、看護師としての「良い仕事」ではなく、地元の人たちと触れ合いながら、支え合いながらする仕事もとてもいいと思えた。

<3回目> 平成28年1月21日

山形県立中央病院救命救急センターHCU看護師 板花 昇(いたはな のぼる)氏



<学生の学び>

○勉強する機会がたくさんあるとわかった。

○いったん他の場所へ就職しても、何年か経ってから戻っても、地元の活性化につながると思った。

○東京では向上心を持った人が多いと聞き、私も一度そのような環境での生活を体験してみたいな
と思った。一度、都会に就職し、親がいる山形に戻ってきたい。

○病院で働く看護師さんのお話を聞いて、将来自分が働く時に何を重要視するのかを具体的にイメージすることが出来た。